

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201030100		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	学校給食運営事業		予算事業名	学校給食運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	宮本 真由子
取組み事項		学校給食の充実と食育の推進を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		学校給食食育推進事業			学校給食運営事業			
		学校給食衛生設備導入事業						
根拠法規及び関連法規		学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第百六十号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者						
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減						
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成						

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	給食実施回数	回	184	186	183	185		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	12.208	8.228	67	8.204	100	7.158	87	
	臨時職員	17.356	22.172	128	27.630	125	5.047	18	
支出内訳	人件費	136,526,222	117,987,037	86	131,327,552	111	70,221,192	53	
	事業費	121,160,151	126,598,242	104	123,143,606	97	129,444,000	105	
	合計	257,686,373	244,585,279	95	254,471,158	104	199,665,192	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	257,686,373	244,585,279	95	254,471,158	104	199,665,192	78	
合計	257,686,373	244,585,279	95	254,471,158	104	199,665,192	78		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食喫食者数							
指標説明(式)		給食喫食園児・児童・生徒数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,513	2,580	102.7	2,439	94.5	2,490	102.1	
	実績	2,513	2,580	102.7	2,375	92.1			
指標名2		給食無料化による経費							
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	97,752,119	98,468,207	100.7	102,072,886	103.7			

【効率性】

指標名1		給食の実施割合							
指標説明(式)		給食実施日数÷授業日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.96	92.96	100.0	92.96	100.0	91.5	98.4	
	実績	92.46	93.47	101.1		0.0			
指標名2		新メニュー導入数							
指標説明(式)		給食へ新メニューを導入した品目数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
品	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	19	15	78.9	15	100.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地産地消を推進し、県内生産の食材を多く取り入れるなど、安心、安全で健康的な給食が実施できた。	4
	市民サービス	平成23年9月から始まった幼稚園給食を、平成24年度は5月から実施し、園児の健全育成を推進した。小学校が、代休でなく遠足等行事で給食が無い日には、幼稚園・中学校給食を実施した。	
効率性	執行体制の効率性	配送車等備品を充実し、運搬ルート及び配送時間の見直しをすることで、給食調理・配送体制の強化を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性の改善として導入予定の給食管理ソフトが予算化できておらず、計画よりやや遅れている。	3

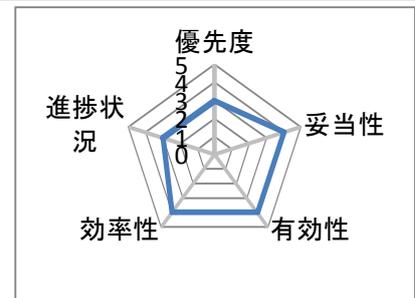
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	メニューの標準化及び適正な食数及び給食業務の管理

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	給食管理ソフトを導入し、給食事務の効率化及び正確な業務管理を進め、献立や栄養摂取の充実を図る。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201040100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	学校支援地域本部事業	予算事業名	学校支援地域本部事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	西角 隆行	担当者名	山本 晃嗣
取組み事項		家庭・地域・学校の連携を深める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒					
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	実施小中学校数	学校数	10	10	10	10	
	ボランティア登録者数	人	895	1009	757	800	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.076	0.120	158	0.080	67	0.064	80	
	臨時職員	0.560	0.480	86	0.412	86	0.600	146	
支出内訳	人件費	2,268,502	2,454,693	108	1,981,642	81	2,442,958	123	
	事業費	193,400	202,600	105	198,287	98	252,000	127	
	合計	2,461,902	2,657,293	108	2,179,929	82	2,694,958	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	491,000	459,000	93	456,000	99	495,000	109	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,970,902	2,198,293	112	1,723,929	78	2,199,958	128	
合計	2,461,902	2,657,293	108	2,179,929	82	2,694,958	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施小中学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	950	135.7	1000	105.3	800	80.0	
	実績	895	1009	112.7	757	75.0			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	262064	260678	99.5	279041	107.0	269495	96.6	
	実績	246190	265729	107.9	217992	82.0			

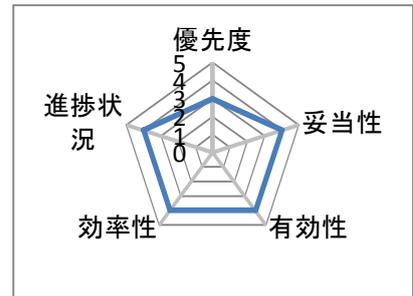
指標名2		登録ボランティア一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3743	2744	73.3	2790	101.7	3368	120.7	
	実績	2751	2633	95.7	2879	109.3			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録ボランティアは増えている	4
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることにより、地域の教育力を活性することができる

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010100		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象人員	人	9	20	11	18	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.084	84	0.084	100	0.094	112	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	1,009,365	93	973,742	96	1,055,098	108	
	事業費	248,689	485,959	195	324,968	67	615,000	189	
	合計	1,334,719	1,495,324	112	1,298,710	87	1,670,098	129	
財源内訳	国庫支出金			-	162,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,334,719	1,495,324	112	1,136,710	76	1,670,098	147	
合計	1,334,719	1,495,324	112	1,298,710	87	1,670,098	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

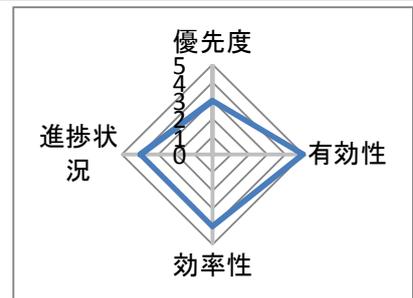
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者について、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校との連携をより密にする。また、補助額の改正等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010200		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象人員	人	7	10	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.084	84	0.084	100	0.094	112	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	1,009,365	93	973,742	96	1,055,098	108	
	事業費	279,636	341,750	122	311,487	91	345,000	111	
	合計	1,365,666	1,351,115	99	1,285,229	95	1,400,098	109	
財源内訳	国庫支出金			-	156,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,365,666	1,351,115	99	1,129,229	84	1,400,098	124	
合計	1,365,666	1,351,115	99	1,285,229	95	1,400,098	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

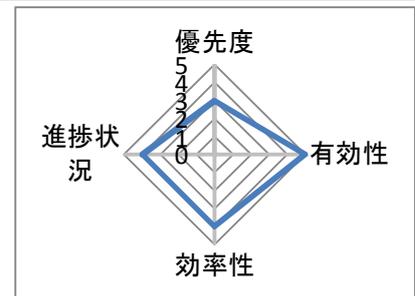
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者について、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校との連携をより密にする。また、補助額の改正等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ周知する。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010300	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	指定教育等研究研修事業	予算事業名	指定教育等研究研修事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名
取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	指定教育等研究研修事業				
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭			
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭			
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。障害児用・教師用教科書図書を補充する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	小中学校児童・生徒、障害児の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	研修会	回	79	82	84	85
	参加人数	人	3950	4182	4204	4300

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.140	0.140	100	0.136	97	0.136	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,422,802	1,472,413	103	1,393,034	95	1,417,606	102	
	事業費	1,349,833	146,564	11	8,551,055	5,834	5,403,000	63	
	合計	2,772,635	1,618,977	58	9,944,089	614	6,820,606	69	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,772,635	1,618,977	58	9,944,089	614	6,820,606	69	
合計	2,772,635	1,618,977	58	9,944,089	614	6,820,606	69		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修会1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		参加述べ人数/実施回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	60	51	85.0	55	107.8	60	109.1	
	実績	50	51	102.0	51	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

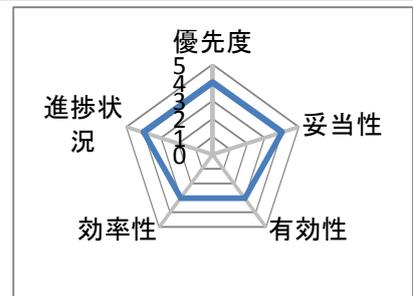
指標名1		研修会1回当りのコスト							
指標説明(式)		決算額÷研修回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11000	11000	100.0	11000	100.0	11000	100.0	
	実績	14430		0.0		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な研修の実施により教職員の資質向上に有効であった。	3
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	3
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	総合的な学習事業を創意ある学校園づくり推進事業への見直しを行った。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地域人材の活用を図り、学校教育課、学校と連携し研修内容の拡充を図る

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	小学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		教育用パソコン更新					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピューター、インターネット維持管理。また、学校図書館充実事業委託が見直しにより本事業に加わった。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校			7	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.164	0.260	159	0.248	95	0.236	95	
	臨時職員	0.164	0.180	110	0.184	102	0.184	100	
支出内訳	人件費	1,978,322	2,810,413	142	2,664,286	95	2,668,838	100	
	事業費	19,697,732	23,117,963	117	28,524,995	123	29,854,000	105	
	合計	21,676,054	25,928,376	120	31,189,281	120	32,522,838	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	21,676,054	25,928,376	120	31,189,281	120	32,522,838	104	
合計	21,676,054	25,928,376	120	31,189,281	120	32,522,838	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者勤務日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標			-	120	-	120	100.0	
	実績		95	-	111	116.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	3
	組織運営・適正管理	学校教育において適正に、予算の配分及び執行が行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

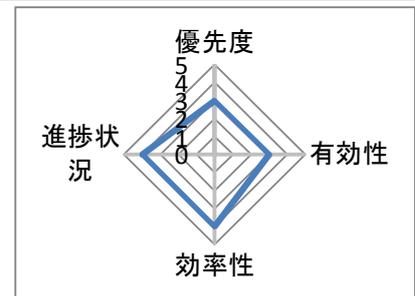
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校図書活性化協議会との連携強化を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校図書活性化協議会と年に2回程度協議の場を設ける。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出、コンピューター、インターネット維持管理。また、学校図書館充実事業委託が見直しにより本事業に加わった。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	学校図書館従事者配置校数	校			3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.172	0.180	105	0.180	100	0.168	93	
	臨時職員	0.164	0.180	110	0.180	100	0.180	100	
支出内訳	人件費	2,039,818	2,190,573	107	2,145,434	98	2,123,670	99	
	事業費	10,315,224	10,440,276	101	10,753,979	103	18,009,000	167	
	合計	12,355,042	12,630,849	102	12,899,413	102	20,132,670	156	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,355,042	12,630,849	102	12,899,413	102	20,132,670	156	
合計	12,355,042	12,630,849	102	12,899,413	102	20,132,670	156		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標			-	40	-	40	100.0	
	実績		36	-	37	102.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	3
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

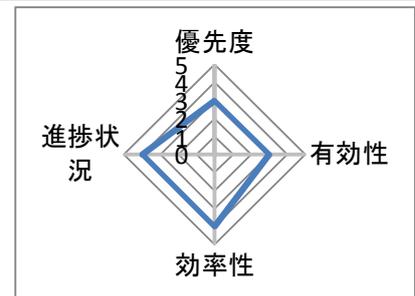
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校図書活性化協議会との連携強化を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校図書活性化協議会と年に2回程度協議の場を設ける。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011100		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		予算事業名	外国人英語指導助手招致事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	山本 要
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	実施日数	日	220	226	225	225		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.364	0.336	92	0.324	96	0.292	90	
	臨時職員	0.036	0.040	111	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	3,203,274	3,059,061	95	2,870,182	94	2,719,222	95	
	事業費	4,596,330	4,908,980	107	5,042,006	103	5,669,000	112	
	合計	7,799,604	7,968,041	102	7,912,188	99	8,388,222	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,799,604	7,968,041	102	7,912,188	99	8,388,222	106	
合計	7,799,604	7,968,041	102	7,912,188	99	8,388,222	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	225	225	100.0	225	100.0	225	100.0	
	実績	220	226	102.7	225	99.6	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

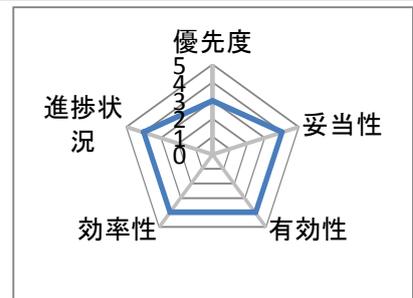
指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7682	8408	109.5	8579	102.0	8563	99.8	
	実績	6254	6915	110.6	7616	110.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施でき、外国人とのコミュニケーションの抵抗感が軽減された。	4
	市民サービス	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。学び塾の講師参加により、小学生から英語への興味関心を高めることができた。	
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手によるネイティブの英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	外国人英語指導助手による活動を有効的に実施し、生徒の英語力の向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による活動を有効に行うなど、効率的な活用を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011300		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業		予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	山本 要	
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取組みを推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年 国語・算数、中学校2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取組みを推進する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象者数	人	699	662	662	877	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.188	0.252	134	0.248	98	0.260	105	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,782,014	2,330,469	131	2,220,942	95	2,381,174	107	
	事業費	563,150	625,536	111	711,724	114	1,194,000	168	
	合計	2,345,164	2,956,005	126	2,932,666	99	3,575,174	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,345,164	2,956,005	126	2,932,666	99	3,575,174	122	
合計	2,345,164	2,956,005	126	2,932,666	99	3,575,174	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当りのコスト							
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	977	662	67.8	674	101.8	1361	201.9	
	実績	806	945	117.2	1075	113.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

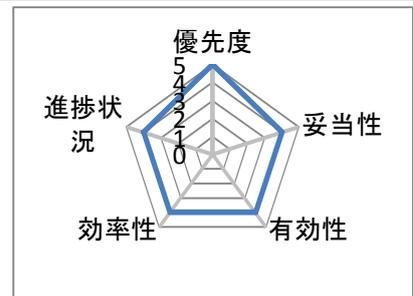
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図ることに努めた	4
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況に応じた学力向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施学年を増やし、より有効な学力向上の取り組みを推進する。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0102020200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	ふれあいものづくり事業		予算事業名	ふれあいものづくり事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	北本 洋志
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童と高校生						
	誰(何)を対象として	小学校児童と高校生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童と高等学校生徒との協働してのものづくりにより、こころ豊かな人間形成を図り、高校生の指導力の向上及びものづくりを通して物の大切さ・想像力を育む。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校6年生が総合的な学習や理科等の授業時間に相生産業高等学校の生徒の指導を受けながら、ものづくりに挑む。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.152		0	0.268	-	0.268	100	
	臨時職員	0.008		0	0.012	-	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,505,282	358,533	24	2,380,658	664	2,454,862	103	
	事業費	125,000		0	100,000	-	107,000	107	
	合計	1,630,282	358,533	22	2,480,658	692	2,561,862	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,630,282	358,533	22	2,480,658	692	2,561,862	103	
合計	1,630,282	358,533	22	2,480,658	692	2,561,862	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

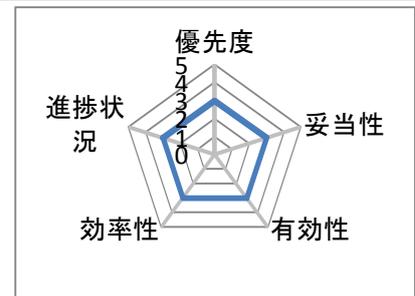
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童と高等学校生徒とのものづくりをととして、こころ豊かな人間形成を図った。	3
	期待する目標	子ども達自身に製作意欲を持たせ、高等学校生徒と協働してものづくりに取り組むことができた。	
効率性	コストの節減	製作コスト削減に努め、必要最低限の費用で実施した。	3
	手段の最適性	子ども達自身に製作意欲を持たせ、限られた時間の中で積極的に取り組めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	教育的な効果が得られる授業。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	移動手段方法

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020300		事業の種類	5		
年度	27	事務事業名	小学校体験活動事業		予算事業名	小学校体験活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	北本 洋志
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生						
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	参加数	人	438	453	436	485		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.260	0.268	103	0.152	57	0.152	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.020	167	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,345,242	2,464,157	105	1,532,898	62	1,564,982	102	
	事業費	6,570,000	6,620,000	101	6,570,000	99	6,620,000	101	
	合計	8,915,242	9,084,157	102	8,102,898	89	8,184,982	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	3,272,000	-	3,494,000	107	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,915,242	9,084,157	102	4,830,898	53	4,690,982	97	
合計	8,915,242	9,084,157	102	8,102,898	89	8,184,982	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

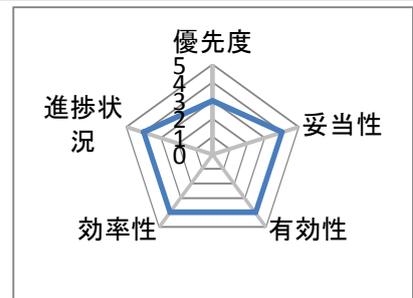
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14898	14711	98.7	15069	102.4	13649	90.6	
	実績	15000	14614	97.4	15069	103.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な事業計画・予算執行に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各校の状況に応じた予算配分

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020400	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業	予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣
取組み事項		豊かな心の育成を図る		担当者名	山本 要
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒			
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	トライやるウィーク参加人数	人	262	220	222	217

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.164	108	0.152	93	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.012	60	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,534,574	1,584,829	103	1,602,530	101	1,543,334	96	
	事業費	2,052,038	1,768,130	86	1,975,940	112	1,878,000	95	
	合計	3,586,612	3,352,959	93	3,578,470	107	3,421,334	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,200,000	900,000	75	1,050,000	117	900,000	86	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,386,612	3,352,959	140	2,528,470	75	2,521,334	100	
合計	3,586,612	3,352,959	93	3,578,470	107	3,421,334	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(生徒)							
指標説明(式)		充実感を感じた者数÷生徒数(2年生)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	93	90	96.8	95	105.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

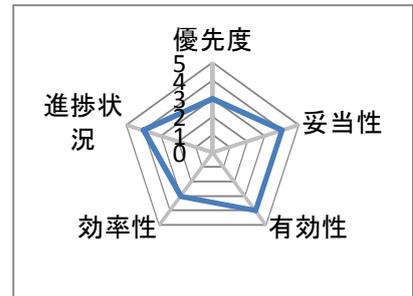
指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0		0.0	
	実績	79	65	82.3		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の参画と協働を基盤に市民が一体となった教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	1週間の限られた期間内に成果があった。	3
	手段の最適性	短期間のため、安全面等考慮したものとしては、充分である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	生徒への指導及び保護者、地域への周知及び啓発。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	3校連携した、受け入れ事業所の確保。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020500		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	適応教室事業		予算事業名	適応教室事業	
優先度	3		担当部局名	教育委員会学校教育課			
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	山本 要
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
取組み事項	豊かな心の育成を図る						
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	教育相談	件	13	15	12	15
	ふれあい教室	回	6	6	6	6

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.172	0.172	100	0.008	5	0.016	200
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-
支出内訳	人件費	1,668,786	1,720,349	103	405,110	24	442,174	109
	事業費	1,997,143	2,421,801	121	2,098,109	87	2,182,000	104
	合計	3,665,929	4,142,150	113	2,503,219	60	2,624,174	105
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	3,665,929	4,142,150	113	2,503,219	60	2,624,174	105
合計	3,665,929	4,142,150	113	2,503,219	60	2,624,174	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ふれあい教室活動								
指標説明(式)	年間活動回数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

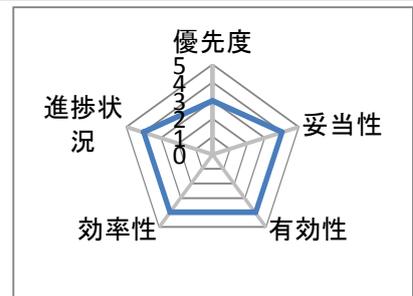
指標名1		教育相談に係る経費							
指標説明(式)		臨床心理士報酬÷年間相談件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	1500	1500	100.0	1500	100.0	1500	100.0	
	実績	1154	0	0.0	1500	-			
指標名2		活動にかかる経費							
指標説明(式)		ふれあい教室講師報酬÷年間活動回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2500	2500	100.0	2500	100.0	2500	100.0	
	実績	2500	2500	100.0	2500	100.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者への理解と協力が得られた。	4
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を得た。	4
	手段の最適性	子どもの特徴に応じた悩み相談、勇気付け、ふれあい教室への参加等により、学校復帰を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	子どもへの救済は緊急を要し、より適切な相談支援の実施が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より多くの子どもの学校復帰と勇気づけ。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020600		事業の種類			
年度	27	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子ががやき顕彰を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	贈呈数	人・団体	6	5	13	10	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.128	1,600	0.108	84	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,826	420,517	111	1,302,950	310	1,165,110	89	
	事業費	20,700	14,300	69	30,000	210	60,000	200	
	合計	399,526	434,817	109	1,332,950	307	1,225,110	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	399,526	434,817	109	1,332,950	307	1,225,110	92	
合計	399,526	434,817	109	1,332,950	307	1,225,110	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	4
効率性	手段の最適性	成績の優秀な個人又は団体の適正把握。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

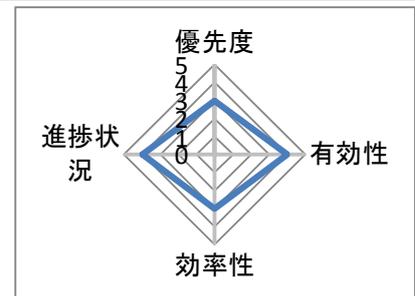
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	各学校園と連携し、表彰候補者の把握に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	校長会、教頭会等の場で事業の周知徹底を図る。



配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020700	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業	予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課	優先度
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	坂本 浩宣	担当者名
取組み事項		豊かな心の育成を図る	実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒			
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	学校園数	校		16	16	16

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.120	-		0	0.096	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		1,288,293	-	345,254	27	1,070,814	310	
	事業費		4,799,544	-	4,622,278	96	4,800,000	104	
	合計		6,087,837	-	4,967,532	82	5,870,814	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		6,087,837	-	4,967,532	82	5,870,814	118	
合計		6,087,837	-	4,967,532	82	5,870,814	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数							
指標説明(式)		補助学校園数 ÷ 総学校園数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-	100	-	100	100.0	
	実績		100	-	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	300000	-	300000	100.0	
	実績		299972	-	288892	96.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取組を行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図る。	4
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。	
効率性	コストの節減	効率的な事業計画を実施するなど、コストの節減に努めた。	4
	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を実施することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

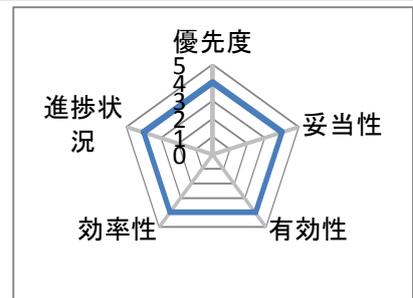
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	地域性や小中一貫教育により重点を置いた事業実施が求められる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各学校園と事業計画に関するヒアリングを実施し、費用対効果についての検証に努める。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	3		
年度	27	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	山本 要	
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	クラブ活動をとおり、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後クラブ活動をとおり、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.096	0.096	100	0.150	156	0.150	100	
	臨時職員	0.032	0.032	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,133,394	1,180,101	104	1,467,554	124	1,495,146	102	
	事業費	2,119,663	2,283,812	108	2,397,868	105	2,986,000	125	
	合計	3,253,057	3,463,913	106	3,865,422	112	4,481,146	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,253,057	3,463,913	106	3,865,422	112	4,481,146	116	
合計	3,253,057	3,463,913	106	3,865,422	112	4,481,146	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	クラブ活動をととして、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	4
	組織運営・適正管理	クラブにおいて組織体制が適正に運営された。	
効率性	コストの節減	保守委託等により、楽器等の購入費の削減が図れた。	4
	執行体制の効率性	吹奏楽部の活動を市の行事等で発表する場を増やすなど、効率的な活動の実施ができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

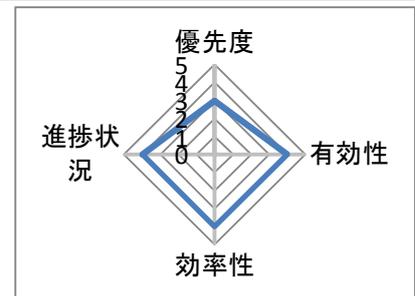
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	用具の消耗に伴う更新

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	楽器消耗品の適正把握による購入



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030300		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業	予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	山本 要
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部、バレー部を招致し、協賛事業として実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	野球	チーム	15	15	15	15	
	バレー	チーム	82	57	56	56	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.148	0.150	101	0.144	96	0.144	100	
	臨時職員			-	0.012	-	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,455,006	1,520,733	105	1,452,890	96	1,480,470	102	
	事業費	732,000	733,500	100	735,900	100	751,000	102	
	合計	2,187,006	2,254,233	103	2,188,790	97	2,231,470	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	258,000	-	258,000	100	
	一般財源	2,187,006	2,254,233	103	1,930,790	86	1,973,470	102	
合計	2,187,006	2,254,233	103	2,188,790	97	2,231,470	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加校数							
指標説明(式)		中・西播磨中学校参加校による交流実績							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
校	目標	95	72	75.8	73	101.4	71	97.3	
	実績	97	72	74.2	71	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

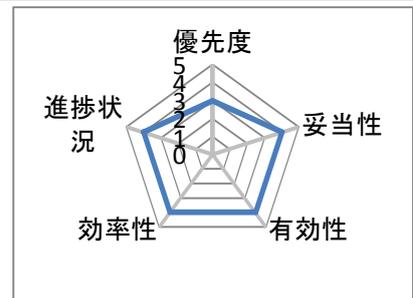
指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7737	10361	133.9	10219	98.6	10577	103.5	
	実績	7546	10188	135.0	10365	101.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町中学生との交流と普段の部活動の成果を発揮し、生徒の健全育成が図れた。	4
	市民サービス	近隣市町中学生との交流と生徒の健全育成が図れた。	
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を図れた。	4
	執行体制の効率性	試合会場を適正に確保し、運営することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	人員配置等、より効率的な運営に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	人員配置を見直し、より効率的な運営に努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030400		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	学校体育振興事業		予算事業名	学校体育振興事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	北本 洋志
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.080	56	0.080	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,453,550	1,503,405	103	974,042	65	977,558	100	
	事業費	3,878,540	4,528,503	117	4,498,674	99	5,912,000	131	
	合計	5,332,090	6,031,908	113	5,472,716	91	6,889,558	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,332,090	6,031,908	113	5,472,716	91	6,889,558	126	
	合計	5,332,090	6,031,908	113	5,472,716	91	6,889,558	126	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による普段の部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	22	22	100.0	22	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

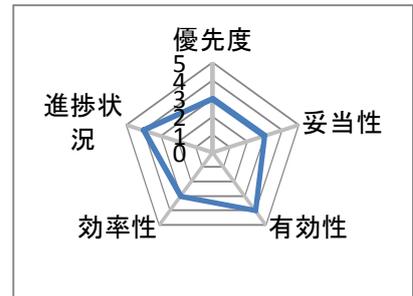
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	4
	市民サービス	健康づくり等の推進による児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	大会出場にかかる交通方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	大会にかかる交通方法の見直し

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	学校医等委嘱事業		予算事業名	学校医等委嘱事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	山本 要	
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.092	88	0.092	100	
	臨時職員	0.008	0.012	150	0.020	167	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,136,306	1,193,485	105	1,083,978	91	1,093,502	101	
	事業費	13,424,306	13,164,253	98	13,213,747	100	13,447,000	102	
	合計	14,560,612	14,357,738	99	14,297,725	100	14,540,502	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,560,612	14,357,738	99	14,297,725	100	14,540,502	102	
合計	14,560,612	14,357,738	99	14,297,725	100	14,540,502	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

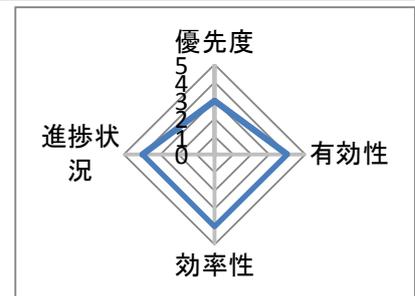
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委嘱対象者の減による実施体制の検討

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校医等の適正配置



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	山本 要
取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	園児・児童・生徒心臓等検診	人	4573	4495	4486	4866	
	教職員健康診断	人	155	194	213	230	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.088	0.092	105	0.048	52	0.044	92	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.246	1,230	0.246	100	
支出内訳	人件費	1,042,606	1,119,949	107	1,324,064	118	1,327,874	100	
	事業費	5,322,616	6,219,262	117	5,868,626	94	7,208,000	123	
	合計	6,365,222	7,339,211	115	7,192,690	98	8,535,874	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,365,222	7,339,211	115	7,192,690	98	8,535,874	119	
合計	6,365,222	7,339,211	115	7,192,690	98	8,535,874	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

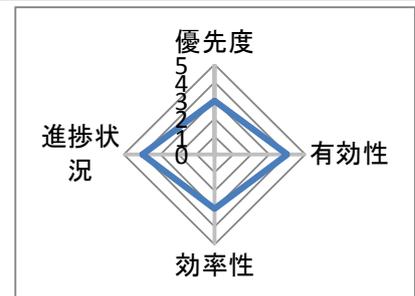
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的に児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	健康診断等の効率的な実施。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	学校健康センター事業	予算事業名	学校健康センター事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等					
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	加入数	人	2513	2410	2432	2426	
	給付実績	件	220	200	178	200	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.048	0.048	100	0.300	625	0.268	89	
	臨時職員	0.256	0.246	96	0.012	5	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,311,202	1,328,217	101	2,620,082	197	2,454,862	94	
	事業費	2,073,850	2,061,105	99	2,019,560	98	2,076,000	103	
	合計	3,385,052	3,389,322	100	4,639,642	137	4,530,862	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,385,052	3,389,322	100	4,639,642	137	4,530,862	98	
合計	3,385,052	3,389,322	100	4,639,642	137	4,530,862	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

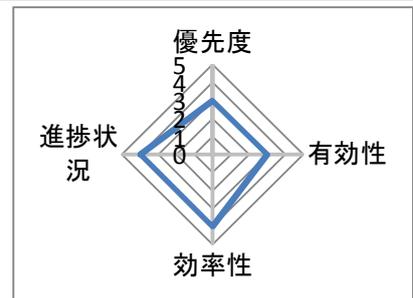
指標名1		災害等実施割合							
指標説明(式)		災害件数÷加入者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9	8	88.9	8	100.0	8	100.0	
	実績	9	8	88.9	7	87.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を得ることができた。	
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	法律に基づいた災害共済給付処理事務の適正な執行。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	適正な給付手続き事務処理による給付の実施。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202040100	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	看護専門学校運営事業	予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛
取組み事項		地域医療に貢献できる人を育てる		担当者名	山口 猛
実施計画事業名				実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		保健師助産師看護師法及び学校教育法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生			
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	受験応募者数	人	292	281	269	250
	国家試験合格率	%	97.6	100	100	100

3 投入資源

会計区分 看護学校特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	10.165	10.787	106	10.688	99	11.000	103	
	臨時職員	1.000	1.003	100	0.940	94	1.000	106	
支出内訳	人件費	80,896,685	86,373,499	107	82,680,730	96	89,460,446	108	
	事業費	18,484,490	19,119,614	103	100,929,592	528	101,600,000	101	
	合計	99,381,175	105,493,113	106	183,610,322	174	191,060,446	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	46,526,219	41,314,648	89	42,232,189	102	40,853,000	97	
	一般財源	52,854,956	64,178,465	121	141,378,133	220	150,207,446	106	
合計	99,381,175	105,493,113	106	183,610,322	174	191,060,446	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移							
指標説明(式)		合格者数 ÷ 受験者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97.6	100	102.5	100	100.0			
指標名2		看護師と准看護師の比率							
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	77	77	100.0	80	103.9	80	100.0	
	実績	70	70	100.0	70	100.0			

【効率性】

指標名1		学生一人当りコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	460083	495392	107.7	512892	103.5	506225	98.7	
	実績	371715	470537	126.6	493255	104.8			

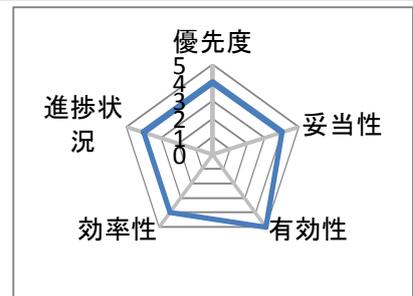
指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7545000	7967000	105.6	7703000	96.7	8696000	112.9	
	実績	5722011	6679850	116.7	7165452	107.3			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の出願者数は前年度を若干下回った。 また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、35名の卒業生全員が看護師国家試験に合格した。	5
	成果の向上	引続き進学説明会への出席や学校訪問に積極的に取り組み、学生の確保を図っていく。	
効率性	コストの節減	教員の定員1名増員及び施設の維持修繕費用により総事業費は増加しているが、事務経費について節減及び効果的な執行に努めた。	4
	負担割合の適正化	使用料の見直し等については、近隣の学校の状況を勘案しながら行いたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	今後の教員の退職に対する教員体制の検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	中長期的な職員採用計画を検討・作成し、教員採用を行う。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	審議会開催数	回	1	1	3	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.092	110	0.180	196	0.108	60	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.008	20	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,060,678	1,168,549	110	1,712,166	147	1,186,758	69	
	事業費	39,000	39,000	100	114,300	293	121,000	106	
	合計	1,099,678	1,207,549	110	1,826,466	151	1,307,758	72	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,099,678	1,207,549	110	1,826,466	151	1,307,758	72	
合計	1,099,678	1,207,549	110	1,826,466	151	1,307,758	72		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数							
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400	570	142.5	570	100.0	570	100.0	
	実績	479	541	112.9	584	107.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	テニスやボクシング等のスポーツにおける知名度と様々な専門コースを設定することにより生徒数が増加しており、27年度末時点では収容定員を超えている。	4
	成果目標(改善)達成度	学校としての定着がみられ、着実に生徒数が増加している。また、地域との連携についても学校新聞などの発行により努力が見られる。	
効率性	手段の最適性	廃校となった相生中学校を民間事業者による利活用ができていない点について、効率的と考える。	4
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知について、電子メールによる迅速な連絡を行うことで学校及び生徒への周知が効率的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	国及び県の監査を受けたことで、これの学校設置事業について見直すべき項目があったため、市としても指導を行っている。	3

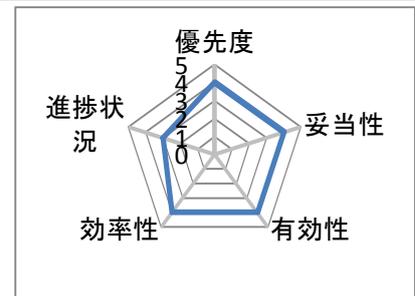
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	教育特区という特殊な環境での事業実施であり、市と学校が密に連携をとる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	様々な規制のなかで、適正な学校運営が行えているか観察、指導を行う。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	小学校管理事業		予算事業名	小学校管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	三浦貴史
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各学校事務用コンピュータ更新 小学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新			
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	学校数	校	7	7	7	7	
	児童数	人	1,345	1,360	1,356	1,376	
	学級数	クラス	68	70	70	70	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.376	0.349	93	0.349	100	0.392	112	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,695,842	3,548,585	96	3,460,272	98	3,937,982	114	
	事業費	53,005,045	73,063,228	138	46,269,844	63	57,605,000	124	
	合計	56,700,887	76,611,813	135	49,730,116	65	61,542,982	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	56,700,887	76,611,813	135	49,730,116	65	61,542,982	124	
合計	56,700,887	76,611,813	135	49,730,116	65	61,542,982	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		義務教育の根幹である小学校施設の一般管理経費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	44,117	60,679	137.5	37,442	61.7	41,864	111.8	
	実績	39,409	53,495	135.7	34,122	63.8			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／7校							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,100,127	1,2308,058	151.9	7,253,000	58.9	8,791,855	121.2	
	実績	8,100,127	10,393,170	128.3	7,104,302	68.4			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

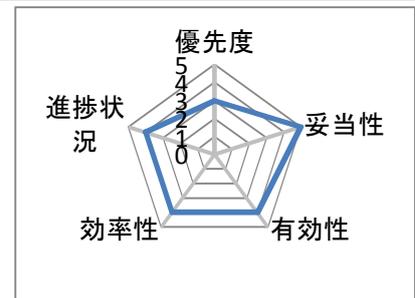
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効的である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易修繕については、引き続き校長会等で、学校職員における対応を呼びかけた。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	三浦貴史
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		通学用マイクロバス運行管理委託 中学校学習机更新事業			各中学校事務用コンピュータ更新 教職員用パソコン更新			
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	学校数	校	3	3	3	3	
	生徒数	人	735	706	662	639	
	学級数	クラス	26	25	22	22	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.376	0.332	88	0.332	100	0.352	106	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,695,842	3,416,869	92	3,333,078	98	3,623,662	109	
	事業費	35,233,841	24,470,554	69	23,629,834	97	30,905,000	131	
	合計	38,929,683	27,887,423	72	26,962,912	97	34,528,662	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	38,929,683	27,887,423	72	26,962,912	97	34,528,662	128	
合計	38,929,683	27,887,423	72	26,962,912	97	34,528,662	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		義務養育の根幹である中学校施設の管理経費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／生徒数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	56,701	38,918	68.6	37,469	96.3	48,365	129.1	
	実績	47,937	33,294	69.5	35,695	107.2			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／3校							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13,891,915	10,323,960	74.3	8,817,667	85.4	11,509,554	130.5	
	実績	12,976,561	8,156,852	62.9	8,987,637	110.2			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な施設修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

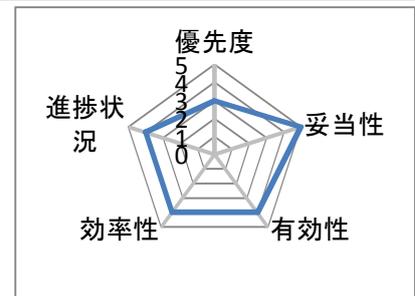
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効的である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易修繕については、引き続き校長会等で学校職員における対応を呼びかけた。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	三浦貴史
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新						
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	幼稚園数	園	6	6	6	6	
	園児数	人	433	420	421	418	
	クラス数	クラス	21	23	21	23	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.280	0.256	91	0.256	100	0.280	109	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,957,890	2,828,021	96	2,764,446	98	3,057,886	111	
	事業費	9,910,585	9,562,449	96	9,333,894	98	10,238,000	110	
	合計	12,868,475	12,390,470	96	12,098,340	98	13,295,886	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,868,475	12,390,470	96	12,098,340	98	13,295,886	110	
合計	12,868,475	12,390,470	96	12,098,340	98	13,295,886	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

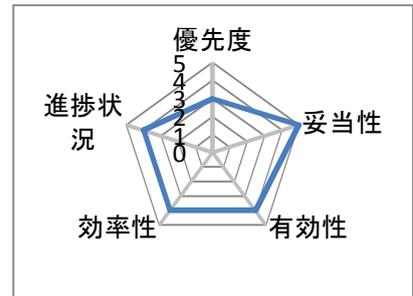
指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	11,219	10,896	97.1	10,946	100.5	10,238	93.5	
	実績	9,911	9,562	96.5	9,334	97.6			
指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額/6園							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	2,296,921	-	2,294,027	99.9	2,215,981	96.6	
	実績	2,144,746	2,065,079	96.3	2,016,390	97.6			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	幼稚園現場の協力により、経費削減については徹底している。施設の維持管理として、漏水の早期発見対策として、月3回程度メーター確認を行っており、早期対応に努めている。	4
	執行体制の効率性	幼稚園職員との連携強化により、より効率性を高めると考える。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	大型備品等について老朽化により修繕頻度が増加しつつある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	修繕に係る予算増額の検討が必要である。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010400		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	小学校施設整備事業		予算事業名	小学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		小学校その他工事			那波小(北校舎)耐震(IS値0.58)			
		相生小(本校舎)耐震(IS値0.69)			矢小(本校舎)耐震(IS値0.39)			
		小学校施設整備			3小学校プールろ材入れ替え			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	維持修繕件数	件	57	68	43	43		
	工事請負件数	件	15	11	15	15		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.467	0.412	88	0.412	100	0.580	141	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.040	83	
支出内訳	人件費	4,024,327	3,667,349	91	3,548,750	97	4,982,326	140	
	事業費	90,510,325	289,012,947	319	275,077,834	95	20,000,000	7	
	合計	94,534,652	292,680,296	310	278,626,584	95	24,982,326	9	
財源内訳	国庫支出金		113,488,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	94,534,652	179,192,296	190	278,626,584	155	24,982,326	9	
	合計	94,534,652	292,680,296	310	278,626,584	95	24,982,326	9	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	73.8	88	119.2	100	113.6	100	100.0	
	実績	72	88	122.2	100	113.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

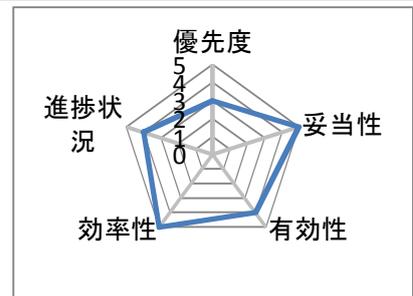
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	施設の老朽化等により、緊急的な想定外の修繕が発生するため、工事及び維持修繕を計画どおり進めることが困難となる場合がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	緊急的な工事でも想定しながら、児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎 義正	担当者名	萩原 達朗
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		中学校その他工事			中学校施設整備			
		各中学校ろ材入れ替え						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	維持修繕件数	件	32	33	34	34	
	工事請負件数	件	3	3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.364	0.324	89	0.324	100	0.384	119	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.040	83	
支出内訳	人件費	3,232,566	2,985,525	92	2,890,334	97	3,442,158	119	
	事業費	28,220,125	17,959,579	64	16,302,944	91	17,000,000	104	
	合計	31,452,691	20,945,104	67	19,193,278	92	20,442,158	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	31,452,691	20,945,104	67	19,193,278	92	20,442,158	107	
合計	31,452,691	20,945,104	67	19,193,278	92	20,442,158	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

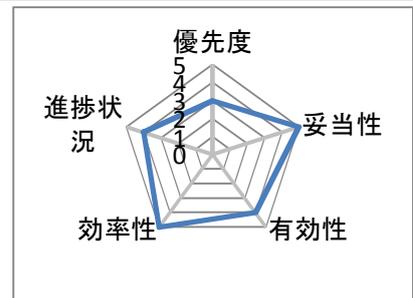
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	施設の老朽化等による改修箇所が増加や突発的な緊急修繕により、計画通り進めることが困難であるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	緊急的な工事も想定しながら、生徒の安全を最優先に考え、その上で優先順位を持ち、改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010600		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	幼稚園施設整備事業		予算事業名	幼稚園施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名		幼稚園その他工事			幼稚園施設整備			
		幼稚園総合遊具等更新						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	維持修繕件数	件	16	16	11	11	
	工事請負件数	件	3	3	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.268	0.240	90	0.240	100	0.340	142	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.040	83	
支出内訳	人件費	2,494,614	2,334,693	94	2,261,846	97	3,096,406	137	
	事業費	2,287,027	2,396,250	105	4,901,040	205	7,400,000	151	
	合計	4,781,641	4,730,943	99	7,162,886	151	10,496,406	147	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,781,641	4,730,943	99	7,162,886	151	10,496,406	147	
合計	4,781,641	4,730,943	99	7,162,886	151	10,496,406	147		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

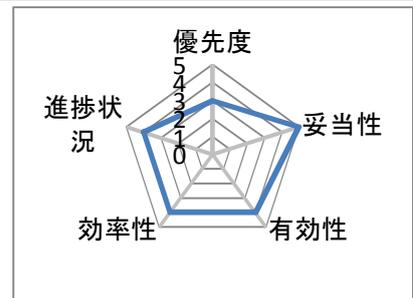
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	耐震化の必要はないが、施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	緊急的な工事も想定しながら、園児の安全性を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010700	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	学校教育施設整備基金事業	予算事業名	学校教育施設整備基金事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名
取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設			
	誰(何)を対象として	施設維持管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金			

2 事業の概要 Do

実施の概要	学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要な経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	積立額		1,961,662	1,962,150	1,962,666	1,962,574
	基金総額		7,347,859	9,310,009	11,272,675	13,235,249

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.004	33	0.004	100	0.008	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	389,525	95	375,182	96	379,310	101	
	事業費	1,961,662	1,962,150	100	1,962,666	100	1,964,000	100	
	合計	2,371,236	2,351,675	99	2,337,848	99	2,343,310	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,371,236	2,351,675	99	2,337,848	99	2,343,310	100	
合計	2,371,236	2,351,675	99	2,337,848	99	2,343,310	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生学院高校の賃借料の額を待つて積み立てをおこなっているが、平成25年1月に財政課による賃料の見直しが行われた。見直しにより積み立ての必要はなくなったが、基金の設置目的を達成するため、継続して基金の積み立てを行った。	4
効率性	手段の最適性	相生学院への貸付料の額を積み立てている為、手段は最適である。平成25年度より土地分貸付料額の積み立てを継続している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

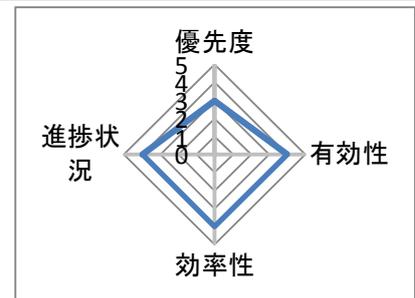
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業	
優先度	3		担当部局名	教育委員会教育管理課			
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当課長	宮崎義正		担当者名	三浦貴史
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
取組み事項	教育の機会均等を確保する						
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高等学校へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費、交通費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要	高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	対象人員	人	34	30	34	37

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.084	0.124	148	0.124	100	0.124	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	963,038	1,319,285	137	1,273,022	96	1,290,838	101
	事業費	1,764,000	1,401,000	79	1,132,000	81	2,001,000	177
	合計	2,727,038	2,720,285	100	2,405,022	88	3,291,838	137
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	2,727,038	2,720,285	100	2,405,022	88	3,291,838	137
合計	2,727,038	2,720,285	100	2,405,022	88	3,291,838	137	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	申請者数(目標)と認定者数(実績)により、ニーズと達成度がわかる								
指標説明(式)	各々の前年比								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	34	34	100.0	28	82.4	28	100.0	
	実績	34	30	88.2	28	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

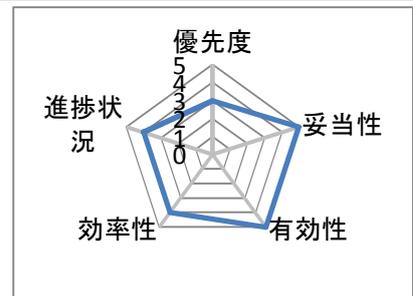
指標名1		奨学生の認定方法							
指標説明(式)		申請世帯の収入状況を示す生活点と成績点を考え合わせ、教育委員会で決定する。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請者は増加傾向にある。平成24年度より予算額を増加し、認定基準を明確化したことにより、事業目的の達成度が高くなったと考える。	5
	市民サービス	高い認定率を確保し、本来必要とする者への支援を行えたことにより、サービスの向上が図れた。	
効率性	コストの節減	制度利用を必要とする者へ支援するコストを充実させることにより市民サービス度が向上する。	4
	手段の最適性	成績及び所得の観点から判断しており、認定者の選定的手段としては、適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国や県の同様の制度創設に伴いその動向を確認する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国や県の制度について、継続して動向を注視する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020200		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象(認定)人員	人	39	33	32	28	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.121	0.108	89	0.108	100	0.100	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,247,457	1,195,317	96	1,153,310	96	1,102,246	96	
	事業費	2,154,876	2,026,281	94	1,603,353	79	2,247,000	140	
	合計	3,402,333	3,221,598	95	2,756,663	86	3,349,246	121	
財源内訳	国庫支出金			-	14,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,402,333	3,221,598	95	2,742,663	85	3,349,246	122	
合計	3,402,333	3,221,598	95	2,756,663	86	3,349,246	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

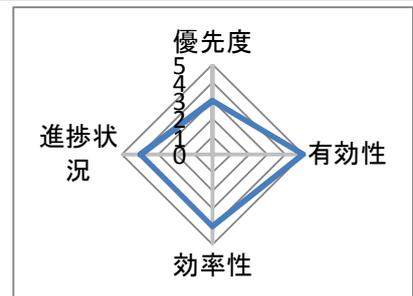
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校との連携をより密にしながら、引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010203020300		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	三浦貴史
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象(認定)人員	人	50	43	31	18	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.120	0.108	90	0.108	100	0.100	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,239,770	1,195,317	96	1,153,310	96	1,102,246	96	
	事業費	4,916,887	4,099,666	83	3,306,102	81	2,232,000	68	
	合計	6,156,657	5,294,983	86	4,459,412	84	3,334,246	75	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,156,657	5,294,983	86	4,459,412	84	3,334,246	75	
	合計	6,156,657	5,294,983	86	4,459,412	84	3,334,246	75	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

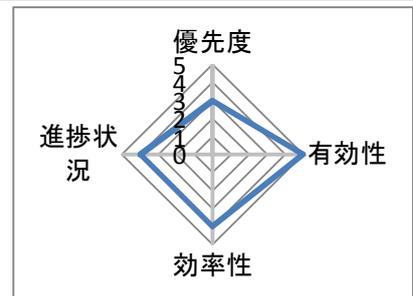
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校との連携をより密にしながら、引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020400	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	小学校通学費補助事業	予算事業名	小学校通学費補助事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正
取組み事項		教育の機会均等を確保する		担当者名	坪田泰典
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者			
	誰(何)を対象として	通学費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	対象人員	人	18	14	15	13

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.068	85	0.068	100	0.068	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	932,290	885,397	95	854,030	96	850,790	100	
	事業費	746,460	603,330	81	610,920	101	543,000	89	
	合計	1,678,750	1,488,727	89	1,464,950	98	1,393,790	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,678,750	1,488,727	89	1,464,950	98	1,393,790	95	
合計	1,678,750	1,488,727	89	1,464,950	98	1,393,790	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	17	16	94.1	18	112.5	13	72.2	
	実績	18	14	77.8	15	107.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

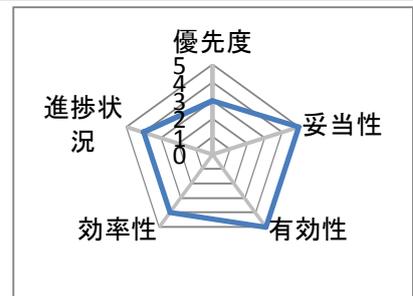
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標は達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からも、コスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校との連携をより密にしなが、引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、周知する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020500		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	中学校通学費補助関係事業		予算事業名	中学校通学費補助関係事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名 坪田泰典
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者					
	誰(何)を対象として	通学費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	対象人員	人	2	0	5	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.052	65	0.052	100	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	932,290	761,429	82	734,318	96	725,062	99	
	事業費	133,350	90,300	68	190,040	210	184,000	97	
	合計	1,065,640	851,729	80	924,358	109	909,062	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,065,640	851,729	80	924,358	109	909,062	98	
合計	1,065,640	851,729	80	924,358	109	909,062	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	0	0.0	6	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

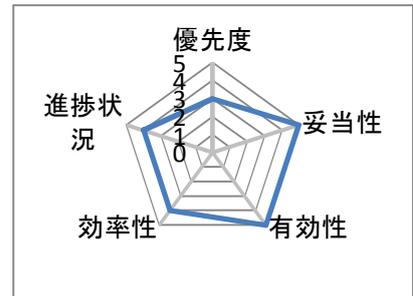
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標を達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からもコスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校との連携をより密にしなが、引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、周知する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203030100		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	教育研究所運営事業		予算事業名	教育研究所運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	山本 要	
取組み事項		子どものやる気を引き出す教職員を育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭						
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭						
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	研修会開催	回	8	8	9	14	
	研修会開催	人	184	201	254	509	
	学校訪問指導	回	138	136	130	135	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.300	0.300	100		0	0.028	-	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,652,722	2,712,093	102	345,254	13	536,470	155	
	事業費	3,151,843	2,721,005	86	4,024,119	148	3,706,000	92	
	合計	5,804,565	5,433,098	94	4,369,373	80	4,242,470	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,804,565	5,433,098	94	4,369,373	80	4,242,470	97	
合計	5,804,565	5,433,098	94	4,369,373	80	4,242,470	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		参加人数÷回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	25	100.0	25	100.0	36	144.0	
	実績	23	25	108.7	28	112.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	25	100.0	25	100.0	36	144.0	
	実績	25	25	100.0	28	112.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効であった。	3
	市民サービス	教職員の資質向上による保護者等の市民ニーズにある程度貢献できた。	
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	4
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

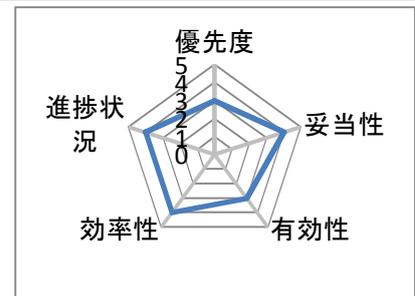
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より効果的な教職員の資質向上を図る

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	教職員の資質向上のため、より効果的な研修会の検討



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	私立幼稚園補助事業		予算事業名		
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	三宅 淳一	担当者名	宮下 忠和	
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校法人補助金交付規則、私立幼稚園補助金交付要綱、私立幼稚園助成補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	私立幼稚園就園児及びその保護者					
	誰(何)を対象として	私立幼稚園設置者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、幼稚園を選ぶ際に市民の選択肢が増え子育てを支援することになる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		私立幼稚園補助、私立幼稚園就園奨励補助					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	私立幼稚園在籍人数	人	73	70	0	0	
	私立幼稚園就園奨励対象人数	人	7	26	0	0	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,826	420,517	111	405,110	96	379,310	94	
	事業費	944,000	1,768,000	187		0		-	
	合計	1,322,826	2,188,517	165	405,110	19	379,310	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,322,826	2,188,517	165	405,110	19	379,310	94	
合計	1,322,826	2,188,517	165	405,110	19	379,310	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		私立幼稚園補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	95	95	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	73	70	95.9	0	0.0			
指標名2		私立幼稚園就園奨励補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11	30	272.7	0	0.0	0	-	
	実績	7	26	371.4	0	0.0			

【効率性】

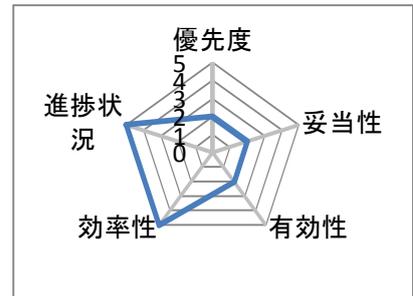
指標名1		園児1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/補助対象園児数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	19250	27109	140.8	0	0.0	0	-	
	実績	18120	31265	172.5	0	0.0			
指標名2		補助金額(合計)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	545000	1237000	227.0	0	0.0		-	
	実績	214000	1068000	499.1	0	0.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、私立幼稚園が健全な経営をすることにより、市民の選択肢が増えることが成果と考える。	2
	市民サービス	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため有効である。	
効率性	負担割合の適正化	H20年4月から補助単価の見直しを行った。私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考えている。	5
	手段の最適性	私立学校振興助成法に基づく助成であり、国の制度及び近隣市町とのバランスからも最適であると考えている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き施策を実施していく	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考えている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、補助対象事業者はなくなったが、必要な補助基準等の規定は整備しておく必要がある。

配点	32.5
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040200	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	矢野川中学校区幼・小中学校園連携モデル事業	予算事業名	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼小中学校園の園児・児童・生徒			
	誰(何)を対象として	幼小中学校園の園児・児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中と12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼・小・中と12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばすため、合同の学校行事・授業、授業研究会、先進地視察等を実施する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	対象者数		304	279		

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	-	0.026	-	0.026	-	
	参事以下職員	0.176	0.180	-	0.112	-	0.112	-	
	臨時職員	0.004	0.004	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,680,006	1,762,893	-	0	-	0	-	
	事業費	40,700	94,560	-		-		-	
	合計	1,720,706	1,857,453	-	0	-	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,720,706	1,857,453	-	0	-	0	-	
合計	1,720,706	1,857,453	-	0	-	0	-		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	効果的な授業研究会、先進地視察等を実施した。	
効率性	コストの節減	効率的な先進地視察を実施するなど、コストの節減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	

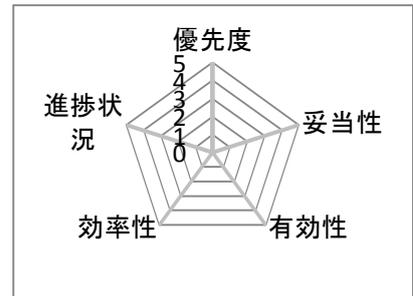
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040800		事業の種類	4			
年度	27	事務事業名	預かり保育事業		予算事業名	預かり保育事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正		担当者名	坪田泰典
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)							
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者							
	誰(何)を対象として	希望する園児							
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動							

2 事業の概要 Do

実施の概要		希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、16時30分まで延長して教育活動を実施する。							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	月平均利用者数	人	79	70	71	70			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.144	0.108	75	0.108	100	0.108	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,424,258	1,195,317	84	1,153,310	96	1,165,110	101	
	事業費	539,850	569,066	105	541,959	95	588,000	108	
	合計	1,964,108	1,764,383	90	1,695,269	96	1,753,110	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,964,108	1,764,383	90	1,695,269	96	1,753,110	103	
合計	1,964,108	1,764,383	90	1,695,269	96	1,753,110	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		月平均利用者数							
指標説明(式)		全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	73	80	109.6	70	87.5	70	100.0	
	実績	79	70	88.6	71	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

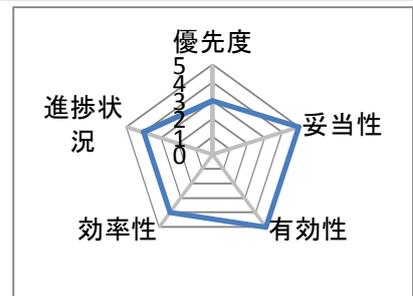
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額/利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	79,190	-	91926	116.1	25044	27.2	
	実績	82,616	91926	111.3	23877	26.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	サービス利用者が増加傾向にある。また、保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、成果目標は達成している。	5
	市民サービス	利用者が増加傾向にあることからサービス度は高い。	
効率性	コストの節減	保育料とは別に教材費及びおやつ代を徴収しており、その費用を上手く活用し、運営している。消耗品費については、教育活動を行うための最小限の予算計上としている。	4
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の下、事業運営している。利用者数に応じた指導員を状況により迅速に確保する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	職員の負担軽減の観点からも、状況を迅速に把握し対応するため、代替支援員を確保する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	代替の支援員を確保し、支援員の休暇や緊急時の迅速な対応ができる体制を整える。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040900	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業	予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児			
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児			
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減			

2 事業の概要 Do

実施の概要	市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	園児数(5月1日現在)	人	433	420	421	418
	就園率	%	60.3	60.0	59.2	58.3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.008	200
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	348,078	389,525	112	375,182	96	379,310	101
	事業費			-	123,120	-	206,000	167
	合計	348,078	389,525	112	498,302	128	585,310	117
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	348,078	389,525	112	498,302	128	585,310	117
合計	348,078	389,525	112	498,302	128	585,310	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生市立幼稚園園児数								
指標説明(式)	5月1日現在の全6園総園児数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	433	420	97.0	409	97.4	418	102.2	
	実績	433	420	97.0	421	100.2			
指標名2	保育料無料化相当額								
指標説明(式)	市内に住所を有する園児に係る無料化相当額								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30,960,000	30,084,000	97.2	29,016,000	96.4	29,520,000	101.7	
	実績	30,084,000	29,520,000	98.1	29,388,000	99.6			

【効率性】

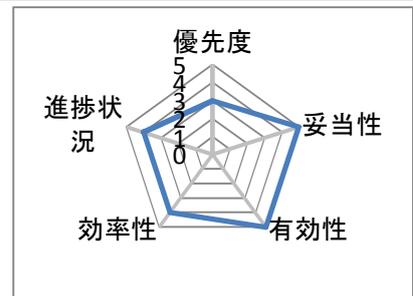
指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴収件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15	11	73.3	6	54.5		0.0	
	実績	15	10	66.7		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	3年保育を実施しており、市外からの通園者も多くある。市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、これは、家庭の世帯構成等により、幼児が通う施設の棲み分けが出来ているからであると判断している。	5
	市民サービス	月額6,000円であった保育料を無料としたことで、子育て世帯の経費負担の軽減が図れた。	
効率性	手段の最適性	市内通園者の月額保育料6,000円を無料としているが、市外通園者は子ども子育て支援新制度の元、保護者が居住する市町により定められた月額保育料を徴収している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	公立幼稚園の保育料無料化が定着してきた。事業目的からも今後も継続して実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	広く周知を行うとともに、引き続き事業実施を行う。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041000	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業	予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課	優先度
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	坂本 浩宣	担当者名
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童			
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童			
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	実施回数	回	18	15	18	19

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012		0	0.192	-	0.184	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	358,533	88	1,781,798	497	1,762,318	99	
	事業費	69,300	117,840	170	123,120	104	206,000	167	
	合計	478,874	476,373	99	1,904,918	400	1,968,318	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	478,874	476,373	99	1,904,918	400	1,968,318	103	
合計	478,874	476,373	99	1,904,918	400	1,968,318	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

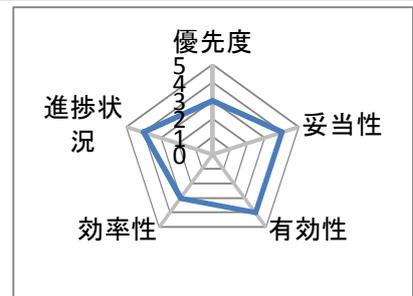
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化。	4
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	教育的な効果が得られる授業。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	移動手段方法。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	相生市小中一貫教育推進事業		予算事業名	相生市小中一貫教育推進事業 優先度 5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一貫性を持った教育推進に向けた、研究会の実施及び先進地等の視察を検討する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.108	-	0.148	137	
	臨時職員			-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費			-	1,163,386	-	1,490,254	128	
	事業費			-	96,560	-	190,000	197	
	合計			-	1,259,946	-	1,680,254	133	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,259,946	-	1,680,254	133	
合計			-	1,259,946	-	1,680,254	133		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

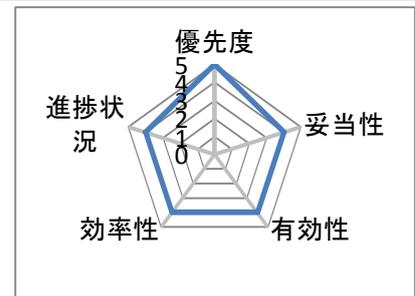
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを進めた。	4
	成果の向上	中学校区ごとに「めざす子ども像」を明確にし、共通指導項目に沿った指導を行った。	
効率性	手段の最適性	幼・小・中学校の連携体制を構築するための、先進事例等の研究をおこなった。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各学校園への事業周知と目標の共有を徹底する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	創意ある学校園事業との関連性を明確にし、各中学校の特色や現状に応じた事業展開を行う。

配点	32.5
総合評価	28